

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 2175
部 名	企画部	課 名	広報課		課長名 白井 誠一
事務事業名	相模原市の概要				
予算上の事務事業名	相模原市の概要				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	36100	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第6章 高度情報化への対応を図ります				
基本施策名	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進				事業開始年度
施策名					昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市広聴広報規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>統計数値を中心とした、市の概要をコンパクトにまとめたものを作成する。市民等からの問い合わせに、職員が出先等でも対応できるよう、携帯に便利なサイズとしている。また、希望する市民や他自治体等に配布することにより市制への理解を深める。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>市職員 市議会議員 視察資料用</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。</p> <p>平成13年度より作成数量を7,000部から7,500部とすることでより広く配布することが可能となった。(出張所等で希望する市民等へも配布)</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	240	240	240	376	400
一般財源	240	240	240	376	400
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	165	166	165	165	165
事業コスト合計	405	406	405	541	565
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	相模原市の概要			対象名称と単位	発行部数 (部)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	405	406	405	541	565
対象数	7,500	7,500	7,500	8,000	8,500
単位あたり経費(円)	54	54	54	68	66
前年度比		1.00	1.00	1.25	0.98

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	発行部数(部)	指標式と指標の説明		7,500(部)を年1回	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	7,500.0	7,500.0	7,500.0		
目標	7,500.0	7,500.0	7,500.0	8,000.0	8,500.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	配布率(%)	指標式と指標の説明		(作成数量-残部数)÷作成数量	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	98.4	98.5	98.3		
目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
目標達成度(%)	103.6	103.7	103.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市の概要をコンパクトにまとめたものとして活用されており、今後も継続して作成する必要があると認識した。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
幅広い年齢層に活用を促すため、各記載事項の利用度等を精査し、より需要の高いテーマに絞ることで、ゆとりのある「見易い」紙面構成を検討する。			記載事項が多岐にわたり、限られた紙面に凝縮して掲載されているため、「見易さ」を犠牲にしている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			